

SP7 は、利用している機種を変更した場合、新機種に元機種の環境を引き継ぎ、同じユーザーとして継続して利用することができます。同じ機器に再インストールする場合も同様です。

移行後も設定・データはすべて引き継がれ、以前と同じデータの操作が可能になります。なおローカル（元機種の内部）に保存してあるファイルは移行されません。

また新機種に移行後は、元機種では SP7 は使用できなくなりますのでご注意ください。

(手順)

- 1) ユーザー情報のバックアップ（レスキューファイル）を作成。このファイルが無いと新機種へ移行できません。

レスキューファイルは、以下の 2 通りの作成方法があります。

①任意の保存場所への作成（1回のみ）

SP7 起動→SP7 管理(K)→レスキューファイル作成

キーホルダーのレスキューファイル作成

レスキューファイル名
ここをクリックしてレスキューファイルの場所とファイル名を指定してください。

復元パスワード

パスワードの確認入力

復元パスワードはキーホルダーの復元時に必要となります。
忘れると復元できなくなりますので忘れないようご注意ください。

もし、パスワードをメモに記録しない場合は、安全のためレスキューファイルとメモは同じ所に保管しないようにしてください。

レスキューファイルとパスワードが他人に利用されるとサービスの不正利用やデータの盗難の恐れがあります。
レスキューファイルは安全な場所に保管してください。

レスキューファイルは 1 回作成可能です。
今まで 0 回作成しています。

保存 キャンセル

②SP7 サーバーへの保存（起動時にも作成を促されます）

SP7 起動→SP7 管理(K)→

SP7 サーバーへレスキューファイルを登録

SP7サーバーへレスキューファイルを登録

SP7サーバーへレスキューファイルを登録します。

方がーの場合は、ユーザー登録画面からユーザー名とメールアドレスを使用してアカウントを復元することが可能になります。

既に登録済みの場合は新しいファイルで置き換える為に、前回登録した復元パスワードの入力が必要です。

前回登録した復元パスワード

新しい復元パスワード

復元パスワードの確認入力

保存するレスキューファイルは復元パスワードで暗号化されます。
復元時にはこのパスワードを入力する必要がありますので、決して忘れないようにしてください。

登録 キャンセル

注) 移行時には復元パスワードが必須となりますので、忘れないようお願いします。

- 2) 任意の場所に保存したレスキューファイルから復元する場合

①SP7 のアプリケーション

「レスキューファイルによる復元」を実行すると右の画面が表示されます。

保存したキーホルダーのレスキューファイル名、復元パスワード、起動パスワード（無くても可）を入力します。

レスキューファイルによる復元

レスキューファイルを読み込んでキーホルダーを復元します。
必要なら、新しいSP7起動パスワードも設定してください。

キーホルダーのレスキューファイル
ここをクリックしてレスキューファイルを指定してください。

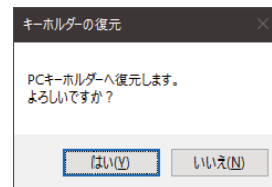
復元パスワード

新しいSP7起動パスワード

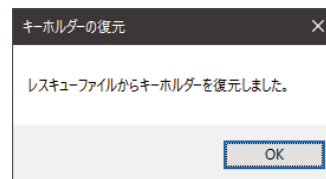
SP7起動パスワードの確認入力

実行 キャンセル

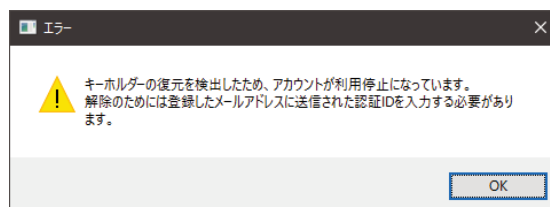
②確認画面が表示されます。



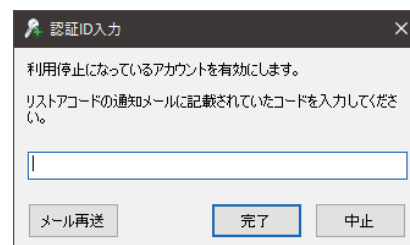
③復元通知画面が表示されます。



④認証 ID の入力通知画面が表示されます。



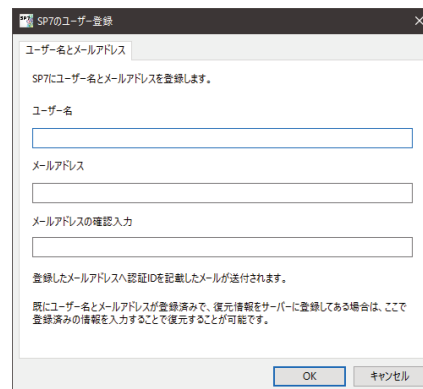
⑤リストアコードの通知メールが届きますので、このメールに記載されているリストアコードをここに入力します。



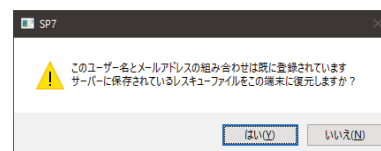
以上で完了です。

3) SP7 サーバーからレスキューファイルを復元する場合
(これは新たに SP7 をインストールするところから始まります)

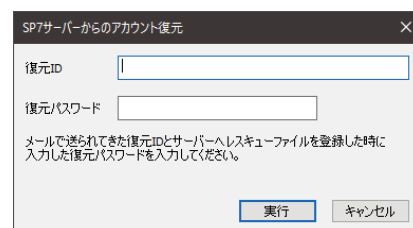
①SP7 をホームページ等からインストールし、起動後ユーザー登録画面まで進みます。
ここで、復元したいユーザー名とメールアドレスを入力します



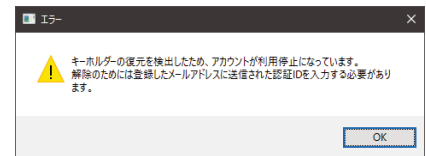
②すでに登録されているユーザー名とメールアドレスの組み合わせの場合、確認（右側）の画面が表示されます。



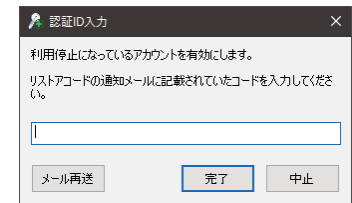
③アカウント復元要求の確認メールが届きますので、このメールに記載されている復元 ID をここに入力します。



④再度確認画面が表示されます。



⑤リストアコードの通知メールが届きますので、このメールに記載されているリストアコードをここに入力します。



以上で完了です。